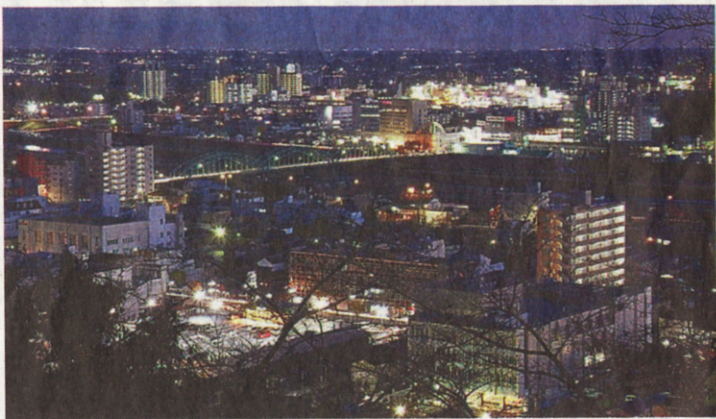


夜景観賞 織姫神社で

足利の名所一望「遺産」認定



織姫神社から一望できる足利市街地の夜景（足利市提供）

足利市の市街地を一望でき、夜景スポットとしても知られる足利織姫神社が先月、民間団体から「日本夜景遺産」の認定を受けた。神社は別の特定非営利活動（NPO）法人から「恋人の聖地」にも選ばれており、市は「“出会い”をテーマに多くの観光客を呼び寄せたい」と意気込んでいる。

夜景観光を推進する一般社団法人「夜景観光コンベンション・ビューロー」（東京都中央区）が隣接する織姫公園とともに認定した。神社と公園は織姫山（標高118^{メートル}）にあり、足利学校や鑢阿寺、渡良瀬川など同市のランドマークを見渡せる。

同法人によると、ハイキングコースに複数の観賞ポイントがあることや、照明が整備され、夜景を観賞す

る環境が整っていることなどが評価されたという。全国の夜景ファンの間では「日本の伝統的な夜景が見られる」と評判で、神殿自体がライトアップされることも高評価だ。

選定を受け、市と観光協会は今後、夜景がきれいに見える場所に看板などの目印を設け、観光客の利便性向上を目指す方針だ。

同法人は現在、全国190か所を遺産として認定。県内では太平山（栃木市）やあしかがフラワーパーク（足利市）などが選ばれている。